

あいであ & アイデア

場所を選ばず安定的に設置できる補液台

(独)家畜改良センター 十勝牧場業務第一課

背景とねらい

患畜の治療に当たっては、点滴による薬剤の投与が必要となる場合が多々あります。

これまで、牛舎内で点滴作業を行う場合、床に敷料が敷かれているため、補液台の設置に当たっては、一旦敷料等を除去したうえでコンクリート床面に補液台を安定して設置する必要がありました。

しかしながら、このような方法では、敷料の除去等に手間がかかること、敷料等の除去が不十分な場合には補液台が不安定な状態となり倒れることなどの問題がありました。

そこで、どのような場所でも補液台を安定して設置できる工夫を考案しました。

内容・特徴・効果

この考案は、①脚部分を爪状に改良することにより、補液台を安定して直接敷料上に設置できるようにする。②腕部分にゴム材を巻くことにより、作業者の安全性にも十分配慮するものです。

この工夫により、牛舎内における補液台の設置が簡易に行えらるとともに、補液台の安定性が増しました。

製作作業は簡単であり、市販の補液台を購入するよりもコストを大幅に削減することができました。



写真1 補液作業
敷草の上であっても、補液台は安定して設置されている。

写真2 補液台の全体および各パーツの拡大写真

<腕部>
丸棒鋼φ16mm
<胴部>
白ガス管20A(太)
白ガス管15A(細)

※高さ100~200cm(可変)



ゴムを巻いた腕部



高さ調整ねじ

<足部>
異形棒鋼φ16mm
直径50cm程度
爪高さ20cm程度



爪状の足部

転載：「家畜改良センター職員が考案した畜産現場で使えるアイデア集より」
<http://www.nlbc.go.jp/idea.html>